

令和5年度 第8回みやま市教育委員会定例会 会議録

◆召集日時 令和5年11月15日 午前10時00分

◆召集場所 みやま市役所山川支所 大会議室

1. 出席教育長・教育委員（4名）

- ・教育長 待鳥 博人
- ・委員 井上 正明
- ・委員 宮本 篤
- ・委員 北原 八州子
- ・委員 大塚 美智恵

2. 欠席委員（0名）

3. 事務局出席者（10名）

- |                      |        |
|----------------------|--------|
| ・教育部長                | 藤吉 裕治  |
| ・教育総務課長              | 堤 則勝   |
| ・学校教育課長              | 末 吉 建  |
| ・指導室長                | 姉川 左希子 |
| ・社会教育課長              | 山田 利長  |
| ・学校教育課長補佐兼<br>学務担当係長 | 河野 成嗣  |
| ・教育総務課長補佐兼<br>総務担当係長 | 牛島 美千子 |
| ・学校再編推進担当係長          | 中島 豊晴  |
| ・指導室主任指導主事           | 松藤 桂輔  |
| ・教育研究所長              | 藤岡 育代  |

4. 傍聴人（0名）

5. 議事日程

- (1) 会期の決定について
- (2) 会議録作成者の指名について
- (3) 会議録署名委員の指名について

- (4) 報告事項
- (5) 次回教育委員会について

【午前10時15分 開会】

【教育長】

本市において、1年間の停職処分となっていた職員が、停職期間中に、賭け麻雀を行い、11月5日付けで懲戒免職とした。

市民の皆様の市政に対する信頼を著しく失墜することとなり、心より深くお詫びを申し上げます。

今後、ガバナンスのさらなる強化と、公務員倫理の徹底を図り、職員一丸となって職務に邁進し、市民の皆様からの信頼回復に取り組むよう努めてまいります。

11月に入り、教育活動が一番充実する季節でもある。各学校では二学期制のもと、子どもたちがしっかり学習に励んでいる。各学校には授業の充実を柱に体験活動のさらなる推進をお願いした。

また、今月は「福岡教育月間」である。本市でも、「みやま市？に挑戦する調べる学習コンクール」を開催し、市内の小中学生から1,000点を超える応募があった。これは二学期制のもと、子供たちがじっくり腰を落ち着けて、長期にわたる調べ学習に取り組める環境が整ったことも一因であると思う。

今年度はワンヘルスをテーマにしたものも多くみられ、子供たちにワンヘルス教育が浸透していると実感した。

11日には青少年健全育成大会がまいピア高田で行われ、小学生、中学生、高校生が意見発表をした。ここでもワンヘルスを主題とした意見が発表された。また、市への政策提言もあり、多様な意見の発表がみられた。

また、11日から13日まで越前町の小学生12名がみやま市を訪問した。みやま市の小学生とともに、交流やみやま市への理解を深めた。今後も「まるごとみやま市民祭り」がみやま市総合市民センターを会場に行われるが、子供たちの活躍を市民の皆様に見ていただく絶好の機会ととらえている。

それではただ今より令和5年度第8回みやま市教育委員会定例会を開会いたします。

日程第1 第8回みやま市教育委員会定例会の会期は1日間とする。

…全員同意

日程第2 会議録作成者は、教育総務課長補佐兼総務担当係長  
牛島 美千子とする。  
…全員同意

日程第3 会議録署名委員の指名については、教育長と北原委員とする。  
…全員同意

#### 日程第4 報告事項

##### ■教育部長

- 【教育部長】
- ・12月議会について  
一般質問  
令和4年度決算審査特別委員会
  - ・教育委員会関連行事について
  - ・みやま市自治功労者表彰式について  
樺島前教育委員 授章

##### ■教育総務課

- 【教育総務課長】
- ・みやま市自治功労者表彰式について  
前教育委員の樺島さんが表彰される。
- 【教育総務課長補佐】
- ・越前町との児童交流について  
日程：11月10日～12日  
参加者：越前町 児童12名、団長、職員2名 計15名  
みやま市 児童13名、団長、職員3名 計17名  
活動内容：宿泊交流  
※2月2日～4日の2泊3日の行程で越前町訪問予定

##### ■学校教育課

- 【学校教育課長】
- ・本市職員の懲戒免職について  
学校では懸命に不祥事防止について、教職員の指導に努めていただいている中での市職員の懲戒免職ということで、非常に申し訳なくお詫びする。市の再発防止策として、所属研修等を引き続き実施しながら、今後も組織としてのガバナンスの強化を図っていくこととしている。また、校長会では、引き続き不祥事防止に関する校内研修会を実施していただくよう改めてお願いしたところである。

## ■指導室

- 【指導室長】
- ・10月30日高田中学校で研究発表会  
ICTを活用。山門高校生と4中学校の生徒会会長が参加してパネルディスカッションを行った。このような生徒が前面に立つような取り組みを、次の研究指定校にも取り入れたい。
  - ・調べる学習コンクールについて  
令和5年度応募数1,668点（児童生徒の約7割）
  - ・学校訪問について（南小学校）

## ■社会教育課

- 【社会教育課長】
- ・11月25、26日まるごとみやま市民まつり
  - ・12月10日人権講演会  
スマイリーキクチさん「インターネット社会と人権」
  - ・12月17日市民駅伝大会
- 【教育長】
- ・報告事項を以上で終了する。全体を通して質疑等お受けしたい。
- 【井上委員】
- ・文教厚生常任委員会とは具体的にどんな話しをするのか。
- 【教育部長】
- ・教育委員会所管の事業、業務について質問や意見等をいただく。今回は決算審査があるので、文教厚生常任委員で所管の予算について審議していただく。
- 【大塚委員】
- ・今回の話にはなかったが、ラジオ体操についてCDやラジカセを貸し出して、市民にラジオ体操を普及していくと以前言われたことがあった。コロナ禍もあり、なかったのではないかと思うが、貸し出し等が実際あったかどうか、市民の関心度はどのようなものだったのか。また、新規に活動を開始されたところがあるのかうかがいたい。やはり参加状況を見ると、女性が多く、年齢も上の方が多かったので、もう少し若い方や男性の参加を促すために、できることがないか。
- 【社会教育課長】
- ・数件問い合わせがあり、貸し出したケースがある。また、最近も講習会の後、借りたいという申し出があり準備をしているところである。参加者は女性や地域の年配の方が多かったと思う。今後は、出前講座等を通して普及していけないものかと考えている。スポーツ推進委員とも協議しな

がら、普及に向けて検討していきたい。

- 【大塚委員】
  - ・ラジオ体操は体にいい運動になる。ぜひ普及させていただきたい。
- 【北原委員】
  - ・出前講座でスポーツ推進委員が指導するとなった場合に、スポーツ推進委員も講習を受けているが、きちんとできる人、できない人という。せつかくなら、指導者を育てていくような取組みもあつたらいいと思う。
- 【社会教育課長】
  - ・軽スポーツの普及や体力測定等、各地域で出前講座を行っているが、ラジオ体操については、いきなり指導というのでも厳しいと思う。スポーツ推進委員には、その辺りも含め、今後の方向性について協議をお願いしたい。
- 【北原委員】
  - ・大塚委員も私も職業柄、ラジオ体操は習得している。しかし、指導となると、もう1回勉強させていただきたいと思う。
- 【宮本委員】
  - ・市民駅伝大会で1キロ弱を走るとするのは、個人的な感覚であるが、何か物足りない気がする。もう少し検討いただけないか。
- 【社会教育課長】
  - ・ご指摘の通り、1.1キロはすぐ終わるだろうと思う。逆に、普段運動をしない方にも気軽に参加していただきたいという思いもある。ただ、正直なところ、場所の問題が一番大きい。新たに道路を使用するとなると、警察との協議を含め厳しい部分がある。規制があまりかからないところで、昨年からこのような形にしている。確かに、もう少し距離があってもいいという方もいるし、今年度はもう計画が進んでいるので、今後、コースについては検討が必要と考える。
- 【宮本委員】
  - ・グラウンドを走るのか。
- 【社会教育課長】
  - ・野球場の周囲を走る。
- 【宮本委員】
  - ・あそこであれば、色々なコースの設定がバリエーションも豊富につくれそうな気がする。
- 【社会教育課長】
  - ・今後工夫させていただきたい。
- 【井上委員】
  - ・42.195キロを走らせるのはどうか。メンバーは何人でもいいので、42.195キロで世界マラソンの記録や日本記録に挑戦しよう。男女別に分けて、目標に向かって頑張るといふ形にするとどうであろうか。大体一周1キロぐらいか。
- 【社会教育課長】
  - ・今のコースは1.1キロである。
- 【井上委員】
  - ・ちょうど40周くらいになる。1人1周ではなく、42.195キ

ロをみんなで走る駅伝であり、マラソンの世界新記録、日本新記録に挑戦というやり方はどうだろうか。

- 【社会教育課長】・全国的にそういう取り組みをされている自治体もある。貴重なご意見として受けとめさせていただきたいと思う。
- 【待鳥教育長】・清水山ロードレースがなくなったので、それに代わる何かをという声もあるが、社会教育課としては市民駅伝大会の充実が第一なので、先ほど井上委員や宮本委員が言われたようなことも含めて、検討してみたらどうか。
- 【宮本委員】・遊歩道は使っていないのか。
- 【社会教育課長】・使っていない。
- 【待鳥教育長】・みやま市側だけでやっている。
- 【社会教育課長】・何かあった時の救急体制も含めて、今はみやま市側で設定している。
- 【待鳥教育長】・今年はまだ12月なので、来年度に向けて充実の方向で進めていただきたい。参加チームはどれくらいか。
- 【社会教育課長】・去年は多分50チーム切るくらいではなかったかと思う。
- 【待鳥教育長】・今年の申し込み状況まだ分からないか。
- 【社会教育課長】・申し込みの締切り前である為、まだはっきり把握できていない。
- 【井上委員】・高校や中学にも案内はしているか。
- 【社会教育課長】・小中学校には全部案内している。
- 【待鳥教育長】・高校生を呼ぶとだいぶ違うだろう。今からでもいいので案内状を持って行ってはどうか。他には何かないでしょうか。
- 【宮本委員】・先日、テレビのニュースで、学校の先生の時間外労働時間の削減に成功した学校が特集されており、月の残業時間を50%ぐらい削減したらしい。岡山県の高梁小学校だったと思うが、色々な工夫をされて50%削減できたというような話だった。1度そういうのを見に行かれてもいいのではないか。話を聞くよりも現場を見た方が一番早いと思う。労働時間の削減等が中々進まないのであれば、そういった成功事例の取り組みをされている学校を視察に行くのもいいのではないかと思う。
- 【学校教育課長】・ご承知のように、みやま市においても、全国的にも、勤務時間が長い事が非常に問題となっており、市としても、働き方改革ということで何とかしていかなければならないと常に思っている。視察をして、そうしたものを取り入れ

る事も非常に大切なので検討していきたい。それから、最近の取組事例としては、欠席の連絡を受ける際、大きい学校では日によっては 20 人から 30 人の欠席の連絡があると聞いている。基本的に電話で受けているが、回線の問題や、朝の時間に限ってしか受けられないといったところもあるため、メール等でシステムの保護者からの欠席連絡を受けることができるような検討をしているところである。少しずつになるかもしれないが、働き方軽減の一環として引き続き取り組んでいきたいと考えている。

- 【井上委員】
  - ・実態的な残業時間はどうなのか。
- 【学校教育課長】
  - ・大体、小中学校ともに 45 時間ぐらいが月平均となる。
- 【井上委員】
  - ・では、問題はないということか。
- 【学校教育課長】
  - ・これは平均であるため、多い方は多い。改善していかなければならない。
- 【井上委員】
  - ・子どもの多い学校、少ない学校で当然実態は違いうだろう。それを統一的にやるのはなかなか難しい。
- 【学校教育課長】
  - ・時間を何時間と区切り、それを目標にというよりは、全体的に下げていく事が必要だと思っている。
- 【井上委員】
  - ・全体的に下げていくというのはどういう事なのか。
- 【学校教育課長】
  - ・50 時間のところは 40 時間に、40 時間のところは 30 時間にしていくという事であり、一律 40 時間に下げていくという事ではないという意味である。
- 【井上委員】
  - ・2 学期制になったからだいぶ良いのではないか。
- 【学校教育課長】
  - ・2 学期制は働き方改革の 1 つの有効な手段だったと思う。
- 【指導室長】
  - ・働き方改革を来年度進めていくにあたり、1 年間にどれくらい授業をしたかというのを出している。過去を見てみると、かなり標準時数を上回っている傾向にある。それだけ先生方が熱心に授業を行っているということだと思うが、なるべく来年度からは標準時数に近づけていただく。そしてしっかりと教材研究を行い、教育の質を充実していただくようにと考えているので、子どもの下校時間を 5 時間で切り上げる等、そういったところも進めていきたいと考えている。働き方は、大体 6 時には帰れる学校もある一方で、やはり生徒指導等の面が大変な学校はもちろん長く、市内では学校によってバラバラである。
- 【井上委員】
  - ・ところで、停職 1 年という期間の決め方はどうしているの

か。

- 【学校教育課長】 ・ 停職の期間については例規に定められている。懲戒の処分を決める委員会があり、その中で1年という判断をされたと思う。
- 【待鳥教育長】 ・ 他に何かご意見はないか。
- 【大塚委員】 ・ インフルエンザの学級閉鎖、学年閉鎖の連絡が入ってくるが、どのような状況になっているのか。
- 【学校教育課長】 ・ 今現在で申し上げると、瀬高小学校の2年生が火曜日から明日木曜日まで学年閉鎖になっている。それ以前で申し上げると、10月末に水上小で6年生と3年生が学年閉鎖、となっている。10月中旬には、山川中の2年生、3年生で学年閉鎖。9月頭ぐらいから出てきているような状況だが、この後も乾燥して寒くなっていくので注意しなければいけない時期だと思っている。
- 【井上委員】 ・ 先生のインフルエンザの感染はどうなっている。
- 【学校教育課長】 ・ 全国をみると、先生方の罹患で学校を閉鎖しているところもあると聞いているが、現在のところ、みやま市の先生方については、どの小学校で多く罹患されているようだとか、そういった話は聞いていない。
- 【井上委員】 ・ 調べる必要があるのではないか。先生も余裕がない状態で仕事をしている。それでインフルエンザにかかったら、どうにもなくなる学校も出てくるのではないか。そういう調査をすることによって、先生たちの感染症対策も出てくるだろう。
- 【学校教育課長】 ・ 調査する。
- 【北原委員】 ・ インフルエンザだけではなく、他の感染症もあり、先生方は大変だと思うが、予防に努めていただきたい。
- 【待鳥教育長】 ・ コロナが一段落したとは言え、コロナの時期が長かったので、インフルエンザ等のウイルスに対する抵抗力、免疫がかなり少なくなっていると聞いている。教職員の実態もきちんと把握してやってまいりたい。

日程第5 次回教育委員会について

◎次回定例会 令和5年12月20日(水) 午前10時～

【教育長】 これで本日の日程は全て終了しました。

令和5年度第8回みやま市教育委員会定例会を閉会します。

**【午前11時00分 閉会】**